

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第1区)

新潟県選挙管理委員会

実行力、経験、政策力、志を持った政治家を国政へ!



西村 ちなみ

アベノミクスの破綻、 危うくなる平和国家・日本の土台。

この2年間、数の力を得た安倍政権の暴走で、日本はおかしな方向に向かいはじめました。今回は大義のない選挙ですが、どうか政治に白けてしまわず、投票所に足を運んでください。このままでは若者から年配の方まで総じて、いのち、暮らしが厳しくなる恐れがあります。この流れに歯止めをかけなければなりません。国民一人ひとりの手で、誰もが安心できる政治を選択しましょう。

比例代表は **民主党**
www.dpj.or.jp

西村ちなみは目指します! 5つの約束

- 1, 株価偏重の「アベノミクス」から、国民の所得、消費を増やす経済への転換
- 2, 「派遣法改悪」など格差拡大政策に歯止めをかけ「分厚い中間層」を復活
- 3, 年金・医療・子育て支援など社会保障の充実、年金積立金は安全重視で運用
- 4, 集団的自衛権行使容認の撤回で外国の戦争に参加しない日本
- 5, 再生可能エネルギー支援のさらなる充実、地方分権の着実な実行

新潟のさらなる飛躍へ

- 新潟港・空港・駅の一体感を高めるインフラ整備で環日本海のゲートウェイ機能強化
- 成長産業と協同組合型の起業を応援しターンUターンを促進
- 健康寿命を延伸する多角的な政策パッケージを実行
- 自民党政権で減額された自殺対策をカバーし、地域における包括的な対応推進
- 拉致問題の解決に引き続き注力

プロフィール

1967年旧吉田町生まれ。三条高校、新潟大学、新潟大学大学院修了。新潟国際ボランティアセンター事務局長、県内の専修学校・短大・大学非常勤講師。1999年新潟県議会議員当選。2003年、2005年、2009年衆議院議員当選(新潟1区)。政府与党では外務大臣政務官として外交の最前線に立ち、厚生労働副大臣として社会保障制度(特に子ども・子育て支援、雇用の格差是正)の充実に努める。2012年の総選挙で落選、原点にかえり地道に地域を歩き確かな志の実現をめざす。

原発ゼロ、年金削減ストップ、子育て支援に全力 国民の声が生きる新しい政治を

日本共産党のまちだ明広は、安倍政権の暴走と対決し、どの問題でも具体的な対案を示し、国民のみならずとの共同で政治を動かします。自共対決の選挙です。日本共産党が伸びれば、政治は必ず変わります。

比例代表は
日本共産党
とお書きください

安倍暴走ストップ 党派をこえて共同を

党名の語源は、コミュニティセンタールと同じ「共同」です。党名が嫌いな方も、そうでない方も、「安倍政権の暴走ストップ」で、力を合わせましょう。「政治を変えたい」あなたの思いを、日本共産党とまちだ明広へ託してください。

集団的自衛権

許しません
戦争する国づくり
●「閣議決定」の撤回を
●秘密保護法の廃止
憲法9条が輝く日本を

政治とカネ

政治をゆがめる
企業・団体献金の禁止を
「身を切る改革」といふなら
政党助成金の廃止を
金も受けとらない日本共産党を
伸ばしてください。

景気回復へ、日本経済の6割をしめる個人消費をあたためます
●社会保障は、切り捨てから拡充へ
●米価暴落の緊急対策、TPP撤退
●農業と中小企業の支援強化
●正規社員があたり前の社会へ
●ブラック企業の根絶
JCP 検索 www.jcp.or.jp

「別」の道があります
《私のお約束—実行します》

消費税10% きつぱり中止

大金持ちと大企業に
応分の負担をもとめる
●「税制改革」…富裕層や大企業の優遇税制をあらため20兆円
●「経済改革」…大企業の内部留保285兆円を活用し、国民の所得を増やし税収増へ



まちだ 明広

日本共産党
あきひろ

若き力を新潟のために! 日本のために!

徹底的に!

地方版 アベノミクス

景気回復の実感!!
〜久しぶりの給料アップへ〜

地方創生

- 子育て支援の拡充!!
- 政務使会議の継続!!
- 年金医療介護の拡充!!
- 女性活躍推進!!
- 自然エネルギーの推進!!
- 農業対策!!
- 国家戦略特区の推進!!

財政出動
金融緩和
雇用の拡大

※県内でも二十数年ぶりの雇用の増加・失業率の低下となりました!

石崎とおるのビジョン

～新潟を日本の中心成長都市に!～

東アジアの玄関としての 新潟空港・新潟西・東港の 更なる強化!

●空港や港湾の人やモノの受け入れ体制を強化する議員連盟の事務局長として、港や空港の強化に取り組んでいます。

日本海東北 自動車道の 早期全線開通へ!

もっと 新潟の食・花・農業を 全国・全世界へ

食・農業特区を新潟に選定!
食品産業・農業の
振興を目指す!

佐渡の金銀山を 世界遺産に!

日本海国土軸の中で、 新潟を「防災首都」に!

●新潟にプロ野球球団を誘致出来るよう取り組んでいます!
※アベノミクスの成長戦略にプロ野球球団増加が盛り込まれています。

第三の矢

観光推進!
上越新幹線の
空港乗り入れの
実現へ!

- 地球儀外交
- 拉致問題解決に向けて前進!
- 日米関係の回復
- 日中首脳会談の実現
- 東京五輪成功

Tohru Ishizaki profile

昭和59年1月25日(満30歳) 与党最年少前議員
新潟市民病院で生まれる。紫竹育ち。
【学歴】
大形小・中学校卒業、新潟高校卒業、
慶応大学法学部卒業
【取得資格】
2006年6月 国家公務員1種(法律職)
【職歴】
2007年4月～2010年7月
○財務省勤務
(G7・G20サミット、IMF・世界銀行、金融危機対策 担当)
2010年7月～2012年3月
○内閣官房国家戦略室主査(財務省より出向)
・予算編成
・成長戦略(雇用・インフラ・子育て支援等)
・農業改革等
2012年12月 第46回衆議院議員総選挙で初当選。
○経済産業委員、拉致問題特別委員、公職選挙法改正等に関する特別委員。党ではネットメディア局長、広報戦略本部次長、財務金融副部長を歴任。新人議員同期会「いっくに会」幹事長。



石崎とおる

自民党
最年少公認30歳

青年局長
自民党最年少前議員
URL http://www.tohru-ishizaki.com
facebook http://ja-jp.facebook.com/ishizaki.tohru
比例代表も 自民党へ

投票日

12月14日(日)

棄権することなく

投票しましょう